



MS313-58013/4

リヤバンパースポイラー

取付・取扱要領書

この度はTRDリヤバンパースポイラーをお買い上げいただきありがとうございます。
 本書には本商品の取付け・取扱いについての要領と注意事項を記載してあります。
 取付け前に必ずお読みのうえ、正しい取付け・取扱いを実施してください。
 なお、本書の取扱い上のご注意(ご使用になるお客様へ)は必ずお客様にお渡しください。

- 本商品は未登録車への取付けはできません。必ず車両登録後に行ってください。

■ 品番・適合車種

品番	塗装色	備考
MS313-58013-A0	ホワイトパールクリスタルシャイン (070)	アルファード ヴェルファイア ExecutiveLounge ExecutiveLounge GF・G・X VL・V・X '15.01~
MS313-58013-A1	ラグジュアリーホワイトパールクリスタルシャインガラスブレイク (086)	
MS313-58013-C0	ブラック (202)	
MS313-58013-C2	パーニングブラッククリスタルシャインガラスブレイク (222)	
MS313-58014-NP	未塗装品 (プライマー処理品)	

・最新の適合情報はTRDカタログサイトをご覧ください。http://www.trdparts.jp/

* 本商品はTRDハイレスポンスマフラー (MS153-58009/10) 装着車専用となります。
 ディーラーオプションを含み、他社製品との同時装着は出来ません。

■ 構成部品

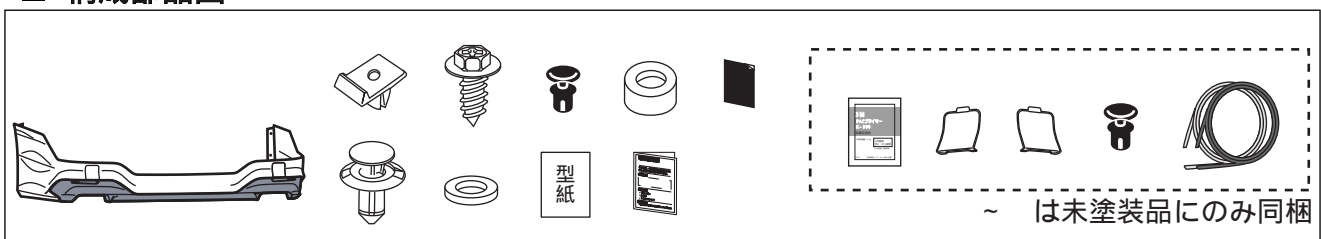
以下、MS313-58013構成部品

品名	個数	備考
リヤバンパースポイラー	1	
グロメット	2	
タッピングスクリュー	2	6×16
クリップA	8	
樹脂ワッシャー	2	t=6.0
ブラックアウトフィルム	1	
クリップB	2	10用
金属ワッシャー	2	t=1.5
型紙	2	
取付・取扱要領書(本書)	1	本書

確認・本商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。
 以下、MS13-58014-NP(未塗装品セット)のみに同梱

品名	個数	備考
PACプライマー	1	K-500
牽引フックカバー RH	1	
牽引フックカバー LH	1	
クリップA	4	4用
モール	(各1)	黒/グレー L=3550mm

■ 構成部品図



取付上のご注意（取付作業者の方へ）

作業を行う前に必ずお読みになり、安全で確実な取付け作業を行ってください。



警告

この内容に従わず、誤った取付け・取扱いを行うと生命の危険または、重大な傷害等を負う可能性がある内容について記載しています。



注意

注意事項を守らないで、誤った取付け・取扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等の恐れがある事を記載しています。



アドバイス

スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

⊘ やってはいけないこと

❗ 必ず行なっていただくこと

⚠ 警告

- ⊘ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故や故障を招く恐れがありますので絶対に行わないでください。
- ❗ 本商品の取付け・交換は、該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。
- ❗ 取付け作業は規定トルクに従って、確実に締付けてください。締め付けが不足すると脱落などにより重大な事故や故障を招く恐れがあります。

⚠ 注意

- ❗ 本商品を取付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。
- ❗ 本商品の取付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取扱いを行ない、同時に取付け部位を保護材にて養生をした上で作業を行ってください。取付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

脱脂作業について（別添の脱脂作業要領も参考にしてください。）

- ❗ 脱脂作業を行う際は、清潔なウエスを使用して、ホワイトガソリン、イソプロピルアルコール(IPA)または「(株)タクティー取扱いのシリコンオフ」を使用して確実な脱脂を行ってください。指定以外のシリコンオフは使用しないでください。
- ❗ 脱脂作業にボディコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂が出来ず浮き、剥がれの原因となります。

両面テープについて

- ❗ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。
- ❗ 両面テープは一度貼り付けてから剥がしますと、接着力は低下しますので再貼り付けはできません。
- ❗ 本商品の両面テープは、環境温度が20以下低温時には接着能力が著しく低下します。温度が不足すると両面テープが剥がれます。
- ❗ 両面テープの圧着は49N(5kgf)以上(車両が軽く揺れる程度)で確実に行ってください。圧着が不足すると両面テープが剥がれます。
- ⊘ 本商品の取付け後24時間は、洗車や水(水拭きを含む)・雨などが、かからないようにしてください。装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

未塗装品の塗装作業について

- ❗ 本商品は塗装前に下地処理が必要です、必ずサフェーサー塗装から始めてください。
- ❗ 本商品に塗装をする際は、両面テープを全面マスキングしてください。
- ❗ 乾燥させる際は製品の変形の無いよう固定してください。又、乾燥温度が高いと変形やひび割れを起こしますので70以下で乾燥させてください。

取付けが終わったら

- ❗ 取付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
- ❗ 作業にバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。

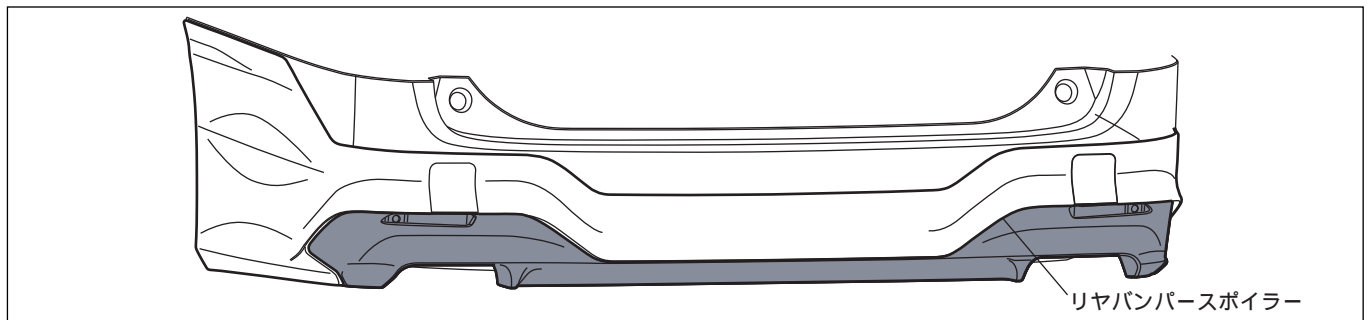
目次

- 1. 表紙、適合表、構成部品表、構成部品図 1
- 2. 取付け・取扱いご注意(作業の方へ) 2
- 3. 目次、取付けに必要な工具・保護具・消耗品、取付け要領 3
- 4. 取付け要領 3 ~ 11
- 5. 取付け後の確認・点検 11

取付けに必要な工具・保護具・消耗品

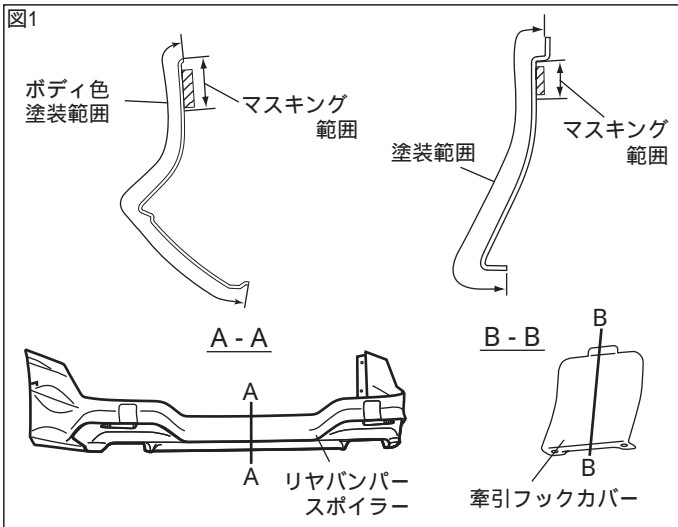
- ・加工用工具(ハサミ、カッター、ドリル、キリ等)
- ・保護メガネ・軍手・保護シート・保護テープ・マスキングテープ
- ・ホワイトガソリン又はイソプロピルアルコール(IPA)・清潔なウエス

取付構成図



未塗装品の取扱いについて

下記は、未塗装品(MS313-58014-NP)の塗装前、塗装後の作業を記載しています。下記要領に従い作業を行ってください。



リヤバンパースポイラーの塗装

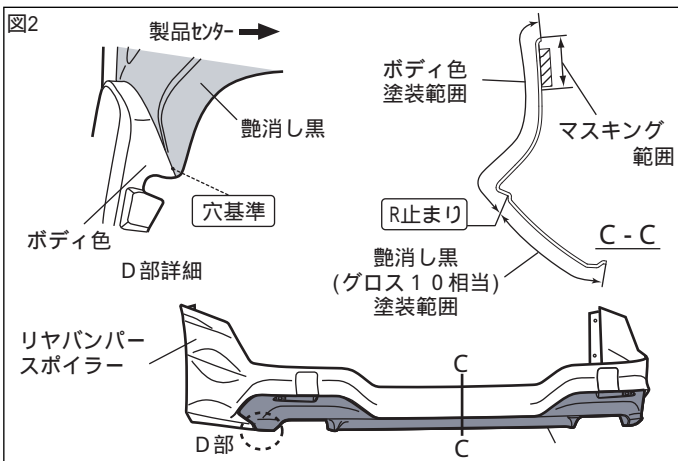
本取付・取扱要領書は、主にLHを示しております、RHも同様に行ってください。

1. 図1のようにリヤバンパースポイラー 及び牽引フックカバー を下地処理を行い、ボディ色で塗装する。
2. 図2のようにリヤバンパースポイラー にマスキングし、艶消し黒(グロス10相当)で塗装する。

⚠注意：脱脂をする場合は、IPA又はホワイトガソリンを使用し、シリコンオフおよびシンナーは使用しないでください。プライマーが溶ける恐れがあります。

⚠注意：モール貼付け面、両面テープには、絶対に塗装しないでください。接着力が低下します。マスキングテープを貼るなどして、対応してください。

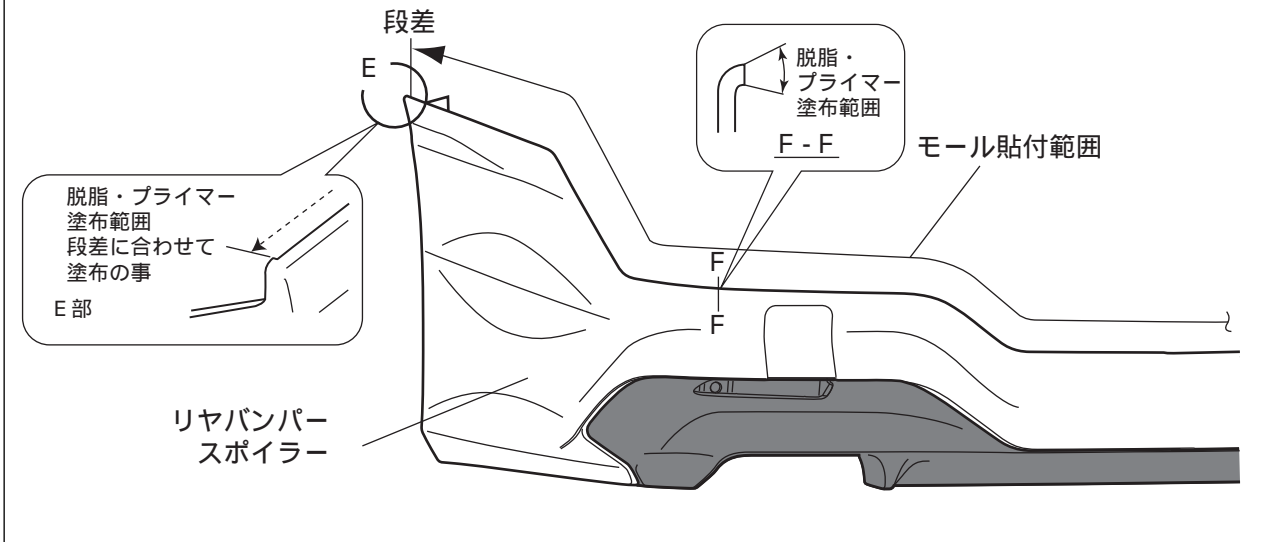
⚠注意：乾燥温度を70 以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分注意してください。強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定してください。



モールの貼付け

本取付・取扱要領書は、主にLHを示しております、RHも同様に行ってください。

図3

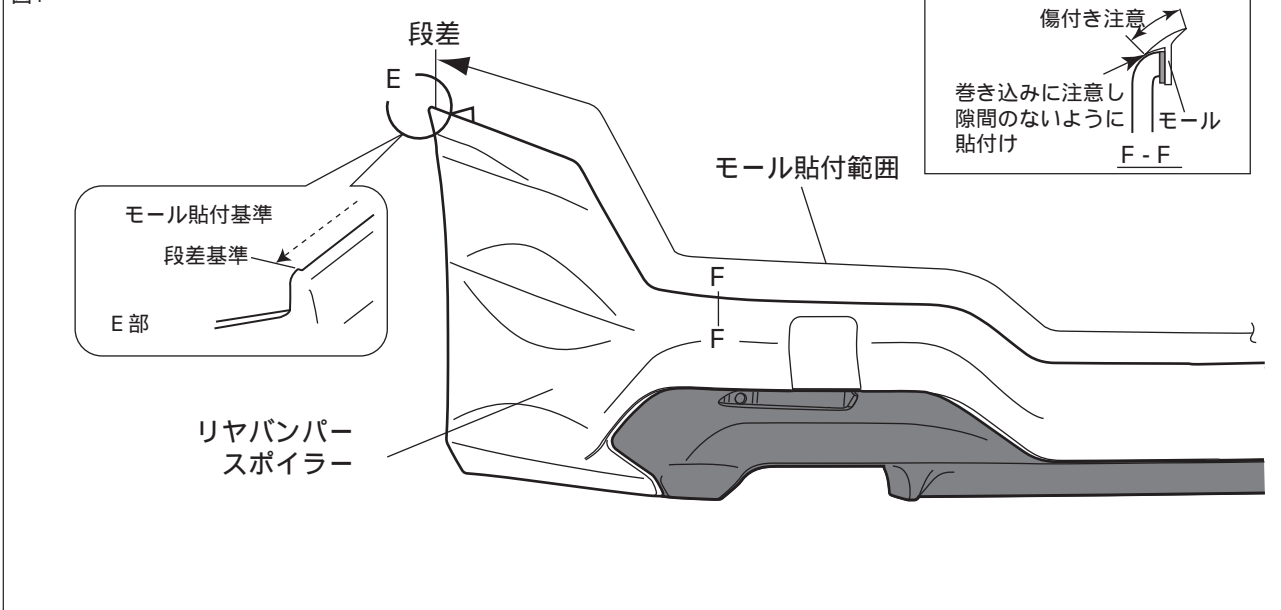


1. 図2のようにモールド貼付部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方方向にふいて脱脂し、PACプライマーを塗布する。

△注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。又、プライマーのはみ出しは、シミの原因になりますので注意してください。

👉アドバイス：脱脂、プライマー塗布後は、10分以上乾燥させてください。

図4



2. 図3のようにリアバンパースポイラーに、モールドの両面テープ離型紙を剥がしながら貼付け、確実に圧着する。
{ 49N (5kgf) 以上 }

👉アドバイス：モールドは長めに設定されているので、長さを合わせてハサミ等で切り落としてください。

△注意：両面テープの接着力最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及びスポイラーの貼付け部をドライヤー等で約40程度に暖めてください。

△注意：モールドは、二色同梱されています。塗装色に合わせて、モールド色を選択し貼付けてください。

図5

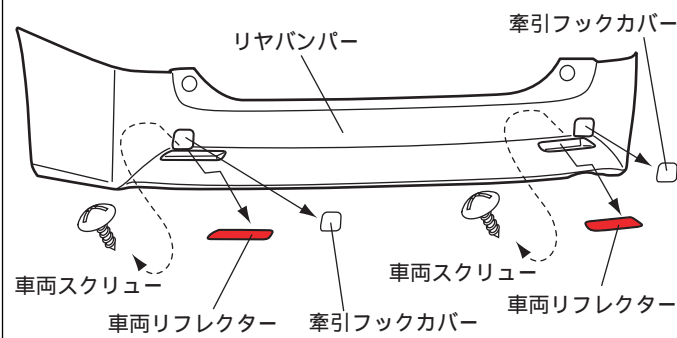


図6

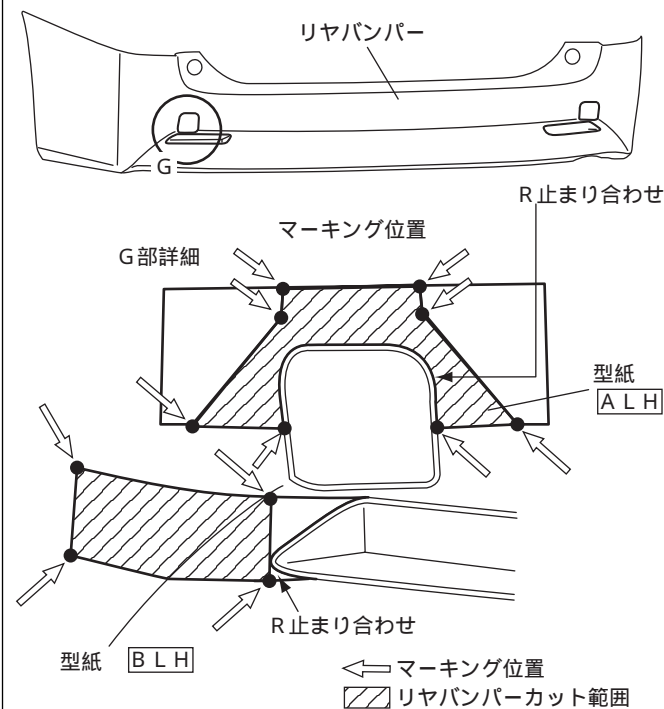
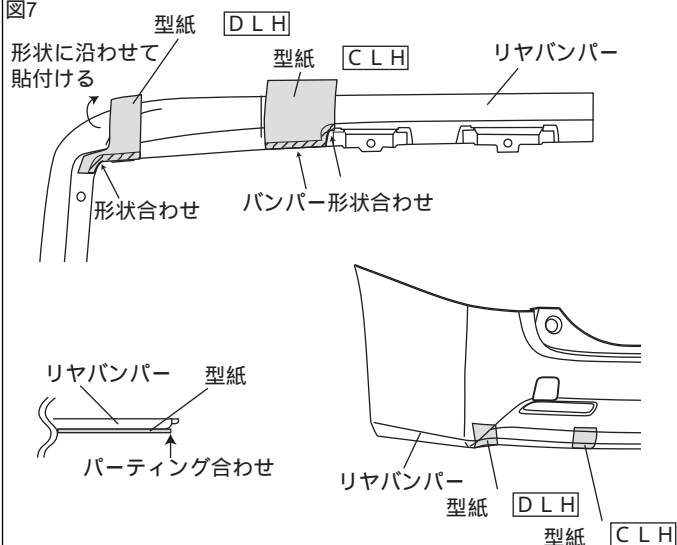


図7



取付準備

本取付・取扱要領書は、主にLHを示しております、RHも同様に行ってください。

1. 該当車両の修理書を参照し、車両からリヤバンパーを外し、車両リフレクター、車両スクリュー、牽引フックカバーを外す。
(左右各1箇所)

⚠注意：取外した車両リフレクター、車両スクリューは再使用しますので、無くない様に必ず保管してください。

2. 該当車両の修理書を参照して車両へリヤバンパーを復元する。

3. 型紙 **ALH**、**BLH**を図6のようにリヤバンパーに貼付けマーキングする。
(左右各12箇所)

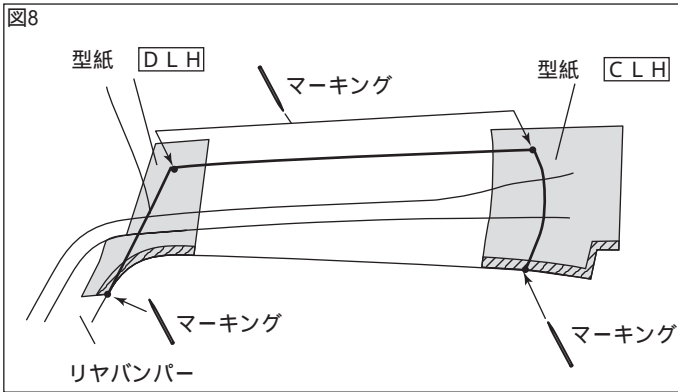
4. 型紙 **ALH**を剥がし、マーキング位置を線で結ぶようにケガキを入れ、ケガキラインに合わせてエアソー等で切取ってから、切り口にできた断面のバリを取除く。
(左右各1箇所)

5. 型紙 **BLH**を剥がし、マーキング位置を線で結ぶようにケガキを入れ、ケガキラインに合わせてエアソー等で切取ってから、切り口にできた断面のバリを取除く。
(左右各1箇所)

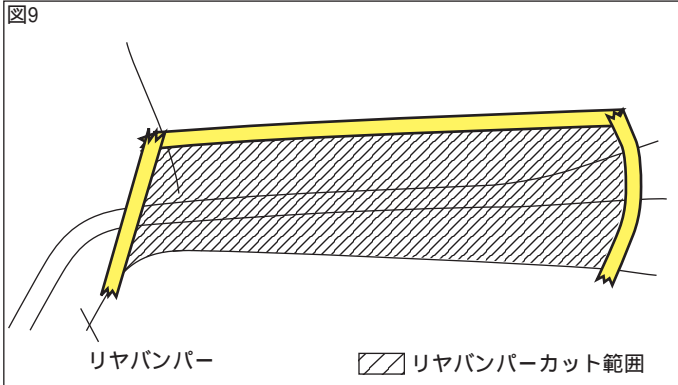
⚠注意：カットする際に、怪我に注意してください。
又、リヤバンパーへの傷つきに注意してください。

⚠注意：バリを取除く時には、カットラインが歪まないように注意してヤスリ等で取除いてください。

6. 型紙 **CLH**、**DLH**を図7のようにリヤバンパーの下面端末に合わせ、リヤバンパー形状に沿わせながら貼付ける。
(左右各1箇所)



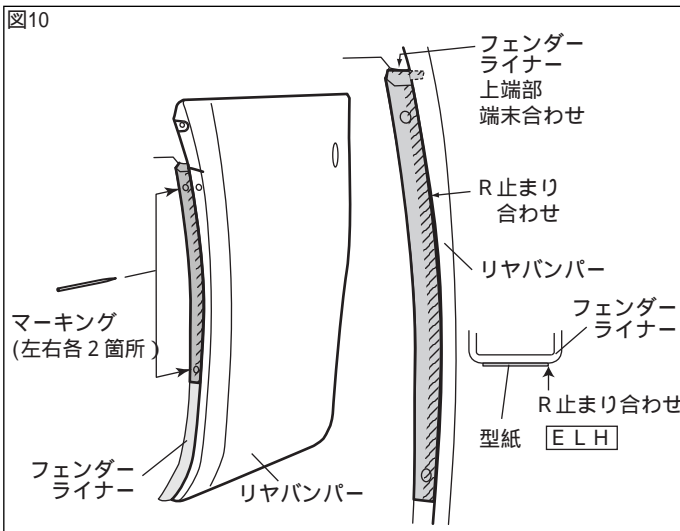
7. 図8を参考にリアバンパーに貼付けた型紙 [CLH]、[DLH]のバンパーカット位置をマーキングする。(左右各計7箇所)



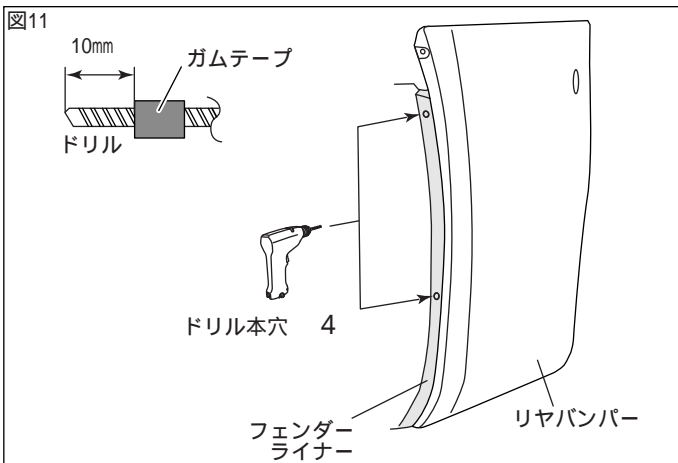
8. 図9のように4箇所のマーキング位置を繋ぎ、斜線部をエアソー等で切取って下さい。

△注意：加工時、車両部品の取扱いに注意し、マーキング位置からズレないようにしてください。

△注意：加工後、カット部のバリ、シャープエッジを取除いてください。



9. 型紙 [ELH]、[ERH]を図10のようにフェンダーライナーのホイールハウス部に貼付けマーキングする。(左右各2箇所)

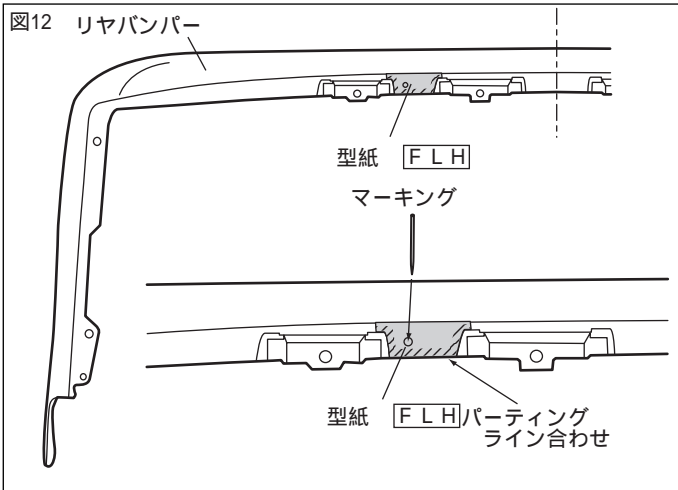


10. 図11のように 4のドリルの先端にストッパーになるようガムテープを巻きつけ、4のドリルを使用してホイールハウス部のマーキング位置に本穴をあけ、穴のバリを取除く。(左右各2箇所)

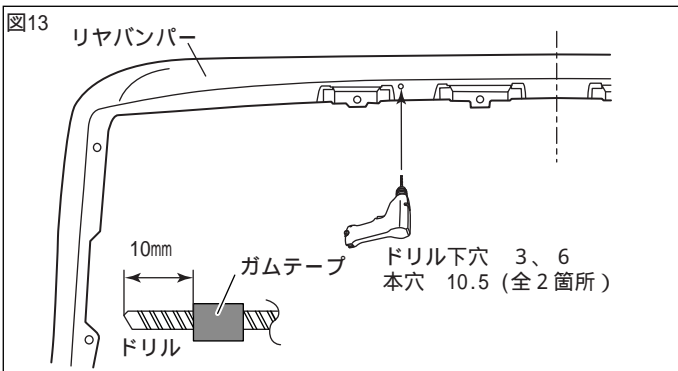
👉 アドバイス：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、マーキング位置からズレないように注意してください。

△注意：作業時は保護メガネを着用してください。

△注意：バリを取除く時には、穴径が大きくなるように注意してヤスリ等で取除いてください。



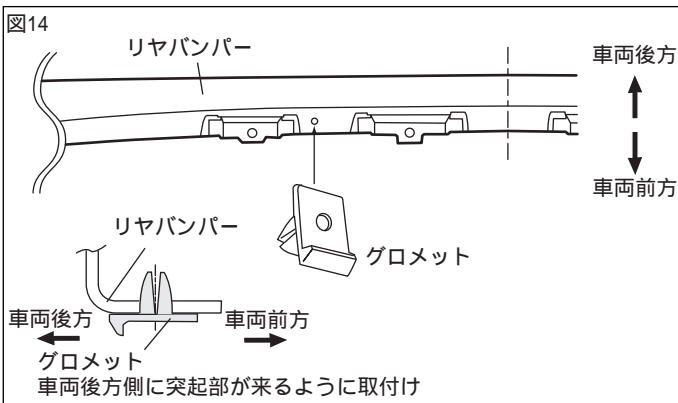
11. 型紙 [FRH]、[FLH]を図12のようにリアバンパーの下面部に貼付けマーキングする。
(左右各 1箇所)



12. 図13のように 3、6、10.5のドリルの先端にストッパーになるようガムテープを巻きつけ、3、6のドリルを使用して下面部のマーキング位置に下穴をあける。
(左右各 1箇所)

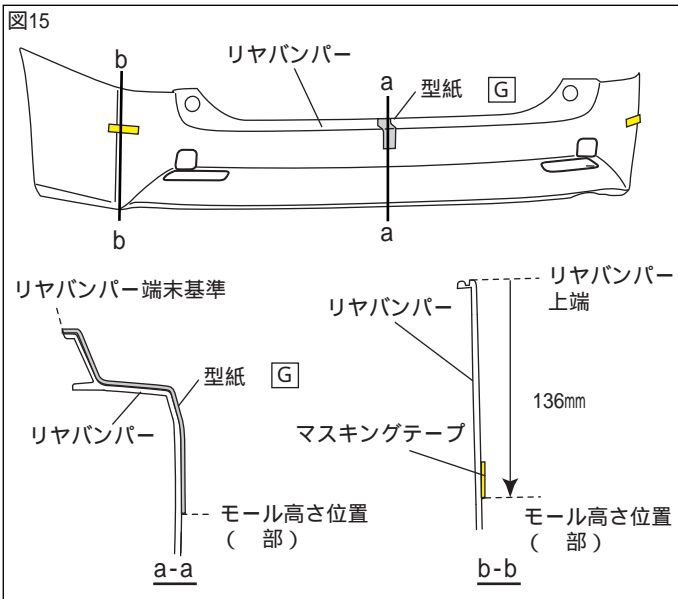
13. 図13のように下穴に 10.5のドリルを使用して本穴をあけ、穴のバリを取除く。
(左右各 1箇所)

👉 **アドバイス**：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、マーキング位置からズレないように注意してください。



14. 図14のようにリアバンパー下面部の 10.5の穴にグロメットを差込む。(左右各 1箇所)

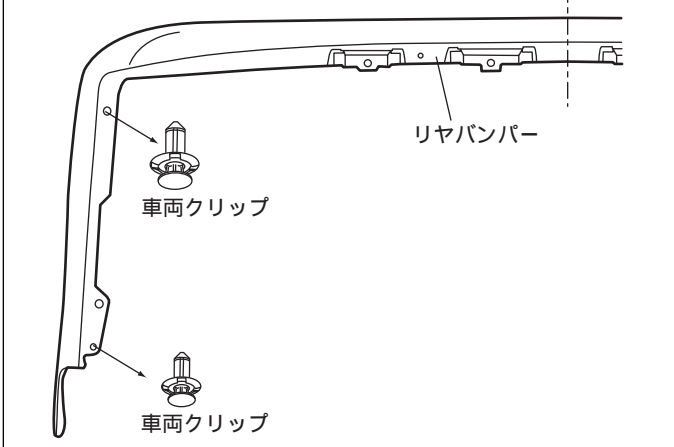
⚠️ **注意**：グロメットの差込む向きに注意してください。逆に取付けるとタッピングスクリューが取付かなくなります。



15. 型紙 [G]を図15のようにリアバンパーのセンターに端末基準で貼付ける。(部)
(1箇所)

16. 図15のようにリアバンパーキャラクター部でリアバンパー上端から136mmの高さにマーキングする。(部) (左右各 1箇所)

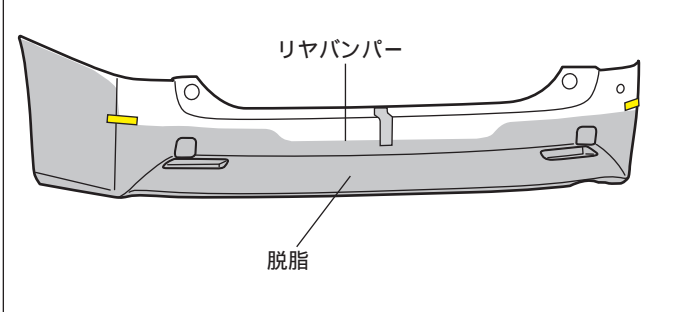
図16



17. 図16のようにリヤバンパー下面を固定している車両クリップを取外す。
(左右各2箇所)

⚠注意：取外した車両クリップは再使用します。無くさないように必ず保管してください。

図17

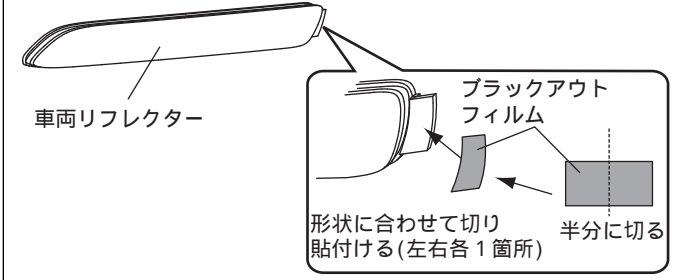


18. 図17のようにリヤバンパーのリヤバンパー スポイラー 取付け部の汚れを取除き、IPA 又はホワイトガソリンで一方方向に拭いて脱脂する。

👉アドバイス：脱脂作業要領書(別紙)を参照してください。

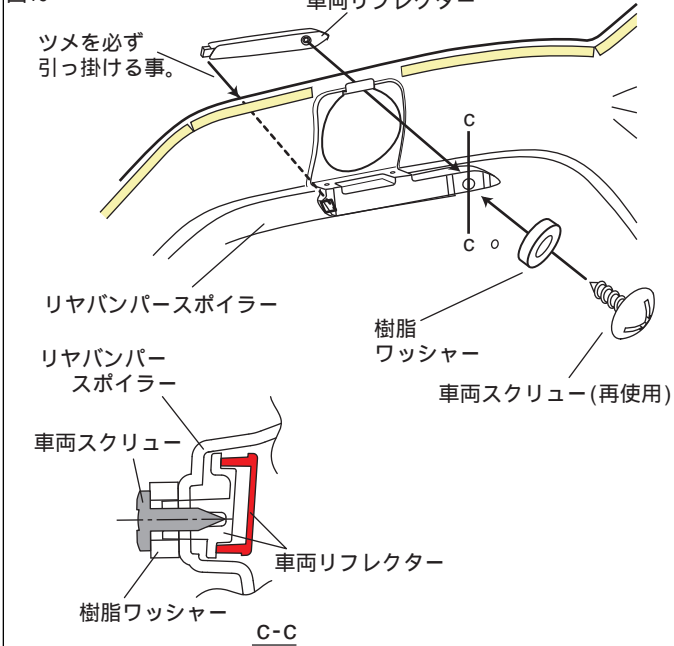
👉アドバイス：脱脂作業を行う際は、換気に注意して、火気を近づけないよう注意してください。

図18

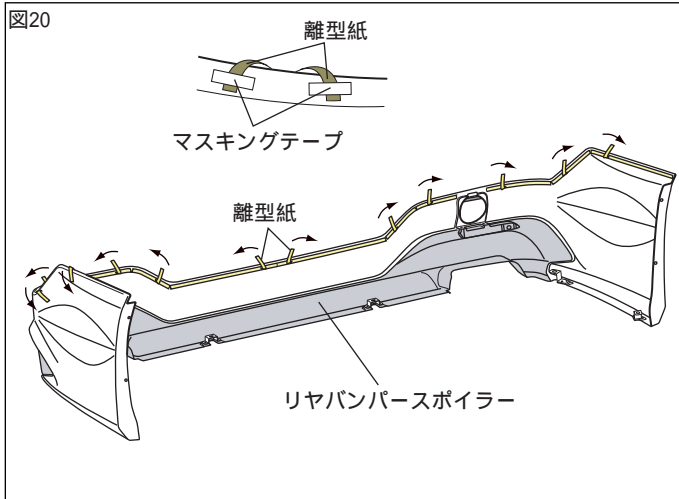


19. 図18のように、車両リフレクター先端形状に切抜いたブラックアウトフィルムを車両リフレクター裏面に折返しがくるようにを貼付ける。
(左右各1箇所)

図19

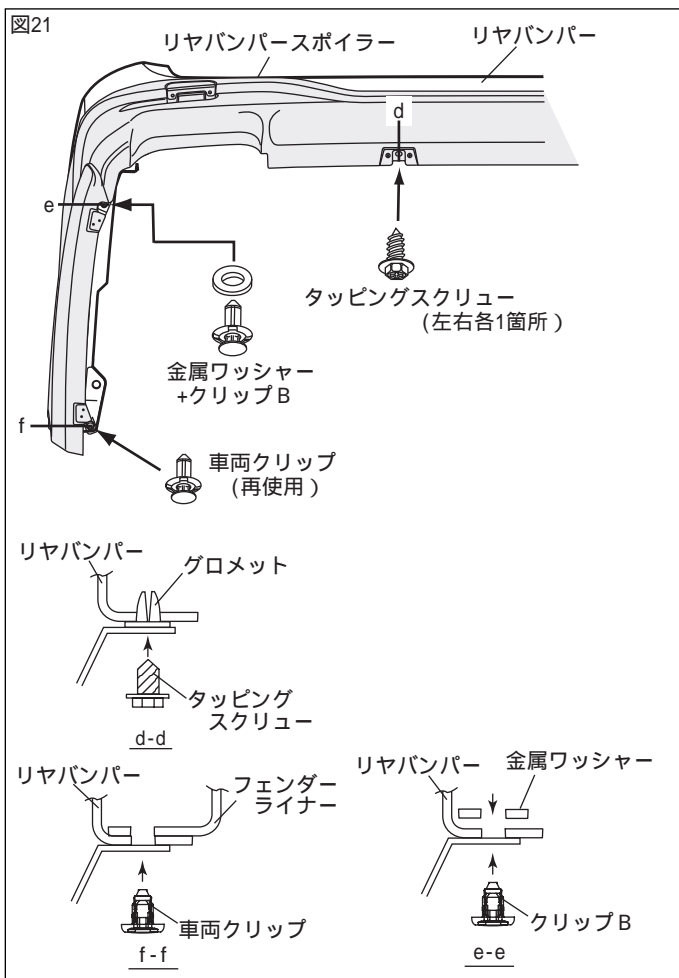


20. 図19のようにリヤバンパー スポイラー のリフレクター取付け部に、樹脂ワッシャーを使い、車両リフレクターを車両スクリューで取付ける。
(左右各1箇所)



21. リヤバンパースポイラー の両面テープの離型紙を、図20のように中央から外側に約30mm剥がし、マスキングテープ等で表側に貼付ける。
(左右各6箇所)

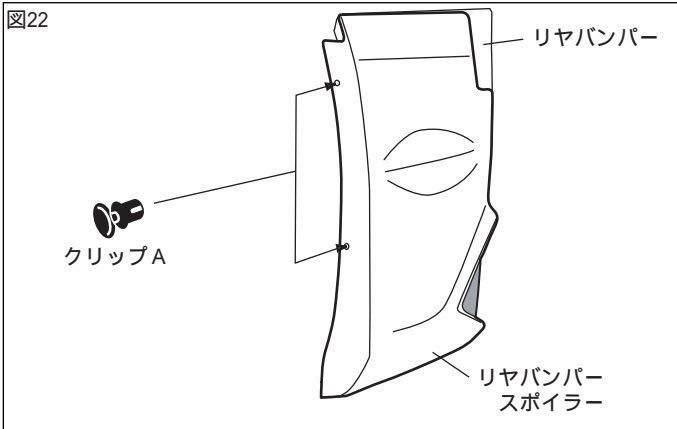
△注意：両面テープの離型紙をすべて剥がしてしまうと、正しい取付け位置に取付けが出来なくなります。



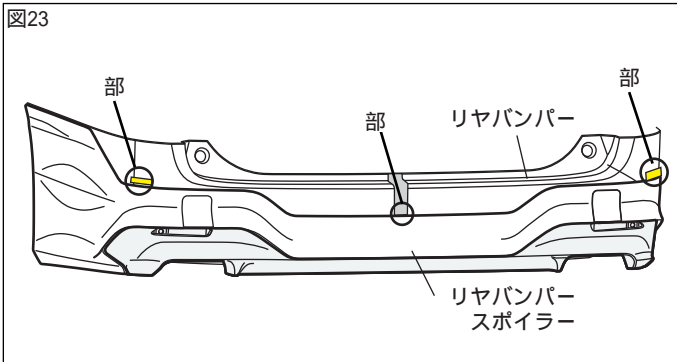
取付け要領

- 図21のようにリアバンパースポイラー をリヤバンパーにかぶせ、タッピングスクリュー で仮締めする。
(左右各1箇所)
- 図21のように e - e 断面部をクリップBと金属ワッシャー で固定し、f - f 断面部を車両クリップで固定する。
(左右各1箇所)

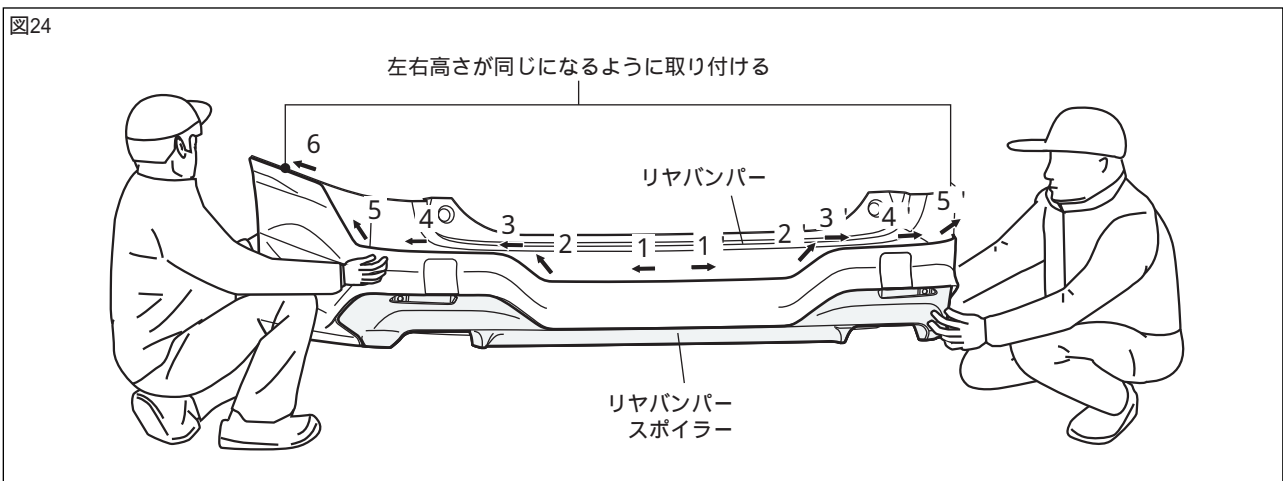
👉 アドバイス：本商品の取付けは、2名以上で作業を行ってください。又、ほこりのたたない屋内で行ってください。



3. 図22のようにホイールハウス部をクリップAで固定する。
(左右各2箇所)



4. 図23のように、部のマーキング高さ位置にリヤバンパー スポイラーのモール端末を合わせる。
(全3箇所)



5. 左右のズレ、隙が無いか確認しながら、両面テープの離型紙(12箇所)を図24の番号順に剥がしながら貼付け、圧着する。
{49N(5kgf)以上}

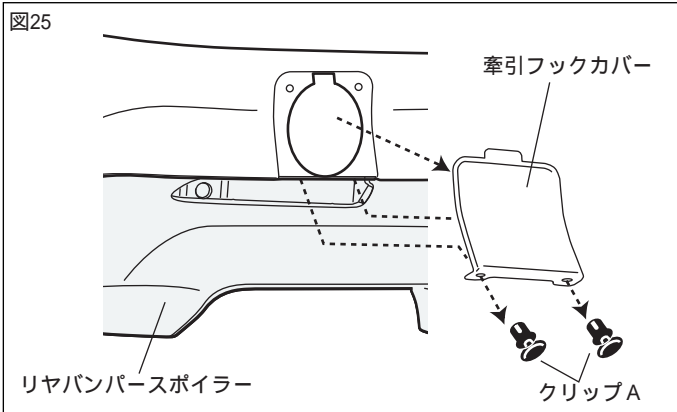
⚠ 注意：両面テープの接着力最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めてください。

⚠ 注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生する恐れがあります。

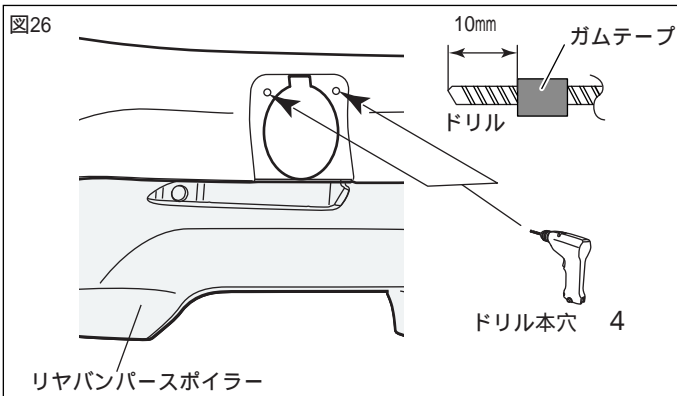
⚠ 警告：両面テープは十分に圧着して下さい。圧着が不十分な場合は、浮き剥れの発生する恐れがあります。

⚠ 注意：両面テープ接着後24時間以内は洗車しないでください。

👉 アドバイス：両面テープの接着力は安定するまでに3～5時間程度必要です。製品の取付け後は、最短3時間程度、強い振動や風圧(車両の移動を含む)が、かからないようにオープンタイム(静止時間)をお取りください。



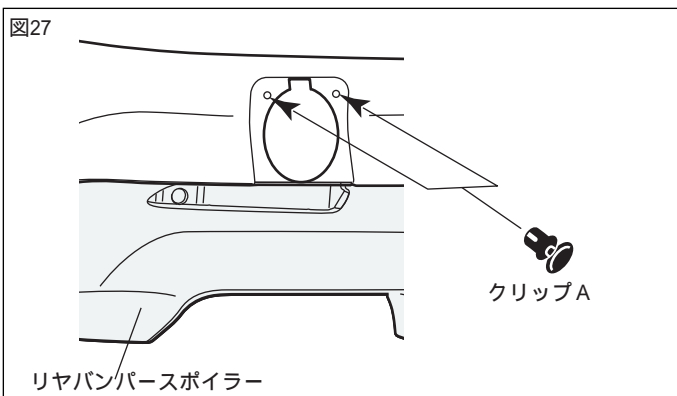
6. 図25のようにクリップを外し、牽引フックカバーをリヤバンパースポイラーから取外す。
(左右各1箇所)



7. 図26のように4のドリルの先端にストッパーになるようゴムテープを巻きつけ、牽引フックカバー部の穴位置中心を狙い、リヤバンパーに穴あけをする。
(左右各2箇所)

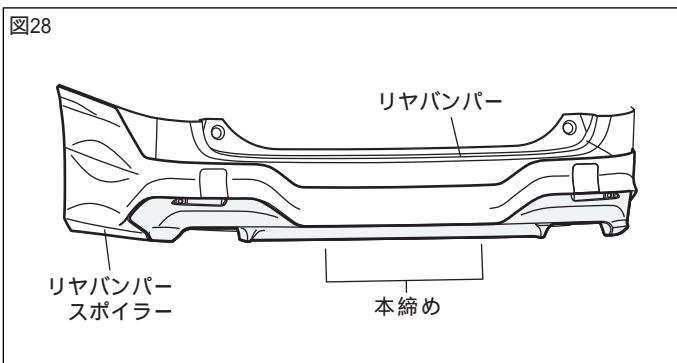
アドバイス：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、マーキング位置からズレないように注意してください。

注意：作業時は保護メガネを着用してください。



8. 図27のようにリヤバンパーとリヤバンパースポイラーをクリップA 2個で固定する。
(左右各2箇所)

9. 牽引フックカバーをリヤバンパースポイラーにクリップA 2個で取付ける。
(左右各1箇所)



10. 図21で仮締めしておいた下面のタッピングスクルーを本締めする。
(全2箇所)

アドバイス：オーバートルクでの締め付けは、タッピングスクルー・ナットが破損する恐れがあります。

取付完了後の点検・注意事項

1. リヤバンパースポイラー、及びリヤバンパーがスクルー・クリップにて、車両に確実に取付けられているか点検する。
2. リヤバンパースポイラー及び車両部品に傷を付けていないか点検する。
3. 製品全周に渡り、浮き、剥がれの無い事を確認する。